

選手権大会を終えて

キャプテン 3年 尾崎 裕人(DF)

あらためて、記念すべき100回大会に幼い頃から知っている仲間たちと初出場できたことを大変うれしく思います。自分たちは、「全国大会で活躍する」ということをみんなで共有してこれまで頑張ってきました。今回は、初戦で負けてしまいましたが、今まで自分たちが積み上げてきたものを全員が一つになって出し切れたと実感できる大会でした。本当にたくさんの方々への応援や支えがあったからこそその結果です。ありがとうございました。

副キャプテン 3年 高橋 亨太(MF)

「楽しかった。」全国大会を一言で表すなら、間違いなくこの言葉しかありません。優勝してからの約2か月間、練習はとてつきつかったのですが、3年間共に切磋琢磨してきた仲間と共に、大晦日まで大好きなサッカー尽くしの日々を過ごすことができ、幸せでした。本当に感謝しかありません。ありがとうございました。

3年 太田 海星(GK)

予選から1試合しか出ていない自分からしたら、緊張や不安が大きかったのですが、市立長野サッカー部として大舞台に立てたことは本当に楽しかったです。ベンチとピッチ上、両方の想いを感じられたことは、自分にしか出来なかったことで、この貴重な経験をさせていただけのも、沢山の方々への応援や支えがあったからこそのものでした。今回、携わっていただいた全ての方々に感謝します。ありがとうございました。

3年 成澤 慧(MF)

夢のような時間だった。今、全国大会を思い返すとその言葉が一番しっくりくる。東山高校はとて強く、終始圧倒され確実に私たちは劣勢だった。しかし相手の鋭い攻撃から全員でゴールを守り、全国という夢の舞台で仲間とともにスタイルを貫き、全てをぶつけた。その時の感情は、ただただ楽しかった。そして、純粋にサッカーを楽しむことは自分たちが一番貫きたいことだった。3年間にはもちろんつらいこともあり、その度にたくさんの人に支えられ、その全てが今となっては貴重なことで、人生頑張る価値があると強く思った。感謝を忘れずに夢に向かって頑張りたい。

3年 常田 陸(FW)

長野県大会を優勝した時は、「やっとここまで来られた」という溢れる思いがありました。全国大会までは全国常連校と練習をするなど、優勝したからこそできる経験をして、あっという間に約2ヶ月が過ぎ試合当日を迎えました。東山高校には負けてしまいましたが、この試合はいつも以上に仲間とサッカーをすることが楽しく感じました。やっぱりサッカーは楽しむことが一番だなと再認識できた良い試合でした。試合終了後のロッカールームで、もうこの仲間と一緒に練習や試合をできないんだと思うと自然と涙が出てきました。サッカーを通して、最高の仲間と辛い練習を乗り越えたこと、言い争いになったこと、ふざけ合って笑ったこと。一生忘れないと思います。最高の仲間に感謝です。

2年 関 日向(FW)

選手権を通して、全員が、全力で試合に臨みました。試合には負けてしまいましたが、全国のレベルを体感でき、貴重な経験を3年生の先輩方にさせてもらいました。憧れていて、とても強かった3年生でも勝てないようなチームが全国には沢山あるとわかったので、今年はさらに気合いを入れて全員で楽しみながら高め合っていたいです。そして、結果として長野県高校選手権を連覇したいです。



Ichiritsu Nagano 明日へ そして未来へ!



温かなご支援とご声援ありがとうございました



君は 翼あるもの

The Road to Kokuritsu Stadium

市立長野高校サッカー一部 第100回全国高等学校サッカー選手権大会出場記録



2022年3月

長野市立長野高等学校サッカー一部
全国選手権大会出場応援実行委員会

お礼の言葉

この度は、市立長野高校サッカー部の第100回全国高校サッカー選手権大会出場に向け、応援募金をお願いしたところ、多くの企業、団体及び個人の皆様からご寄付をいただき、誠にありがとうございました。

皆様方のご厚意により、実行委員会で立てた目標額に達することができ、大晦日に行われました大会出場に関する費用に充てることができました。また、おかげさまで試合や応援の全行程を、参加者全員が無事に行うことができました。

チームは、全国の舞台でも臆することなく、勝利に向け最後まで一生懸命プレーする姿を見せてくれ誇りに思っております。改めまして、ご支援ありがとうございました。今後とも、応援よろしくお願致します。

応援実行委員会委員長 返町 直也

この度の第100回全国高校サッカー選手権大会出場に当たり、本当に多くの地域の皆様方からご支援、ご声援をいただきました。

全国大会に向けて作成された代表校紹介動画があります。対東山戦のハーフタイムにテレビ放映されたと聞いています。100回目の記念大会での勝利を願って、けん玉を100回続けて成功させようというのですが、そこに部員が子どもたちと一緒に餅つきをしたり、サッカーの試合をしたりする映像が映っています。2019年10月に発生した千曲川決壊で被災した子どもたちに笑顔を届けようと学校で開催した「Smile Day」の一コマです。けん玉もその時に子どもたちと一緒にやったものです。

ここに、地域とともに歩む本校サッカー部の姿が表れていますし、全国大会を経て、今後ますます地域の皆さんの支援をいただきながら、地元で育った子どもたちが全国で戦える魅力ある所にしていかなければいけないと強く感じたところです。

改めまして、地域の皆様方に感謝申し上げます。ありがとうございました。

学校長 菅沼 尚

このたびは、第100回全国高校サッカー選手権大会への出場に際して、本当に多くの皆さまからのご支援、ご声援をいただきましたこと、この場をお借りして感謝申し上げます。

全国高校サッカー選手権大会を通して、子どもたちが夢を持ち、必死に努力してきたことが、これだけ多くの皆さまの感動や喜びとなったことを実感しました。全国大会では、残念な結果となりましたが、選手は今ある力で精一杯プレーしてくれました。今後もこのクラブが、この土地で生まれ育った子どもたちにとって、トップレベルのサッカー選手を目指す場所であり、夢を与えられる、魅力ある場所となるように努力していきたいと思っております。今後とも引き続きご支援よろしくお願いたします。

監督 芦田 徹

